



「九州大学ヒアリ研究グループ」が発足！

2017年5月26日に兵庫県尼崎市に日本で初めてヒアリが侵入しました。その後、次々に侵入事例が報告され、7月21日には福岡市のアイランドシティでもヒアリが発見されました。ヒアリは一度定着すると根絶が非常に難しく、健康被害や経済被害も膨大になります。

そこで、九州大学の村上貴弘准教授（持続可能な社会のための決断科学センター）を代表者として、細石真吾助教（熱帯農学研究センター）、緒方一夫教授（熱帯農学研究センター）、丸山宗利准教授（総合研究博物館）で「九州大学ヒアリ研究グループ」を立ち上げました。

このグループの目的は、ヒアリの定着を防ぐために、九州周辺でのヒアリと疑わしいアリの同定支援、ヒアリの生態や行動に関する助言や情報提供を自治体や港湾・空港事業者等に向けて行うことです。

九州内でこれまで見たことのないようなアリを見た、もしくはこれはヒアリではないのか、ヒアリに関する啓蒙活動をお願いしたい、などの要望がありましたら下記メールアドレスまでお問い合わせください。

【お問い合わせに対応できる例】

- (1) 港湾関係、防疫、保健所、学校等での講習会の開催。
- (2) 公的空間でのアリ相調査。

※旅費や謝金等につきましてはご負担をお願いいたします。

【対応できない事例】

(個人的なもの)

- (1) 見慣れないアリがいて心配だから調べてほしい。
- (2) 自由研究の支援。
- (3) ご自宅に住み着いたアリ・シロアリ・ハチの駆除

研究者からひとこと：

持続可能な社会のための決断科学センター准教授の村上です。ヒアリの水際での発見率向上や基礎的な分類スキル、生態の知見増加などを目指して、九州大学の4名のアリ研究者でこのグループを立ち上げました。一緒にヒアリの定着を防ぎましょう。よろしくお願いします。



Alex Wild “Insect Unlocked” program より引用

【お問い合わせ】九州大学ヒアリ研究グループ

Mail: hiari-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp